

2025.5.15
薬に頼らない～
認知症の人のBPSDの理由と
背景を探る勉強会

講師 稲田秀樹

一般社団法人かまくら認知症ネットワーク代表理事
株式会社さくらコミュニティーケアサービス代表取締役

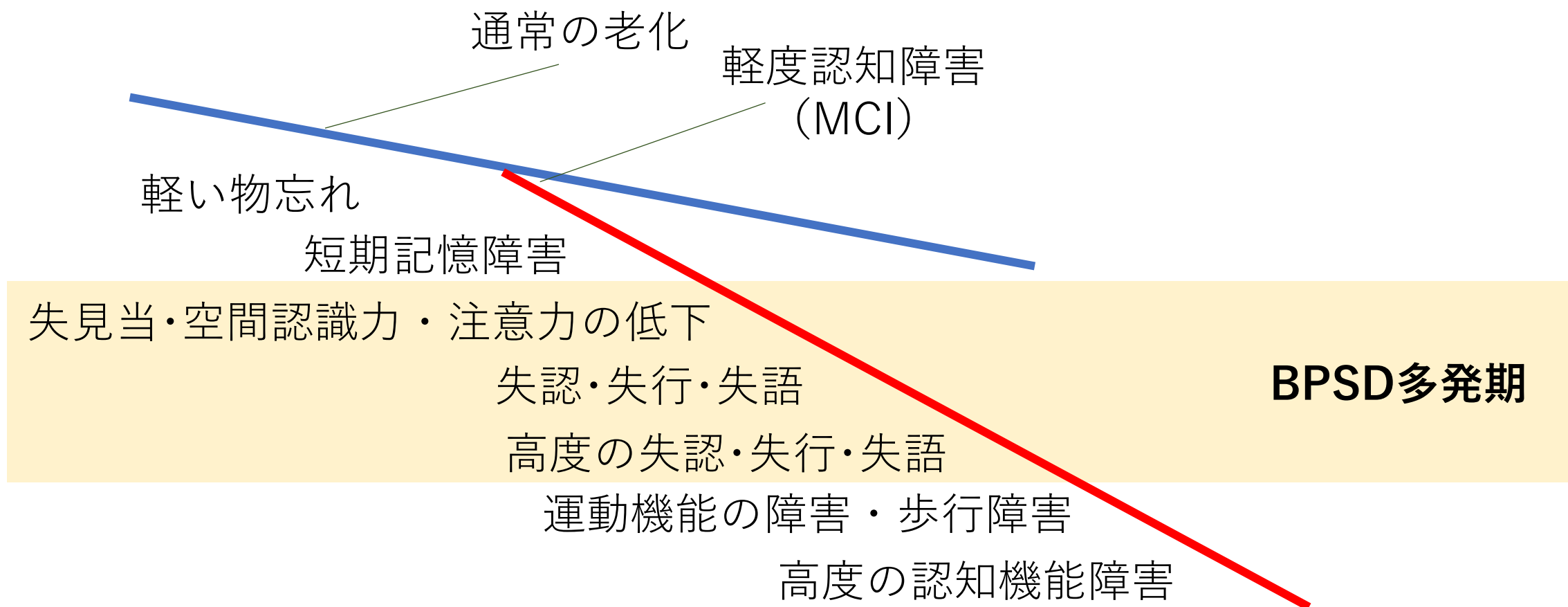
勉強会では、認知症の人の生活を
困難にするBPSD（行動と心理の
症状）が起きている状況を整理し、
BPSDが起きる理由と背景を推測
しながら、支援者の関わり方やケ
ア環境のあり方を考えていきます。

【第1回】

BPSDの理由と背景を推測して
対応策を探ってみよう

～総論と事例から学ぶ～

アルツハイマー型認知症の治療薬とBPSDの多発期



認知症の病気

そのものから起こる脳の障害

中核症状

症状の現れ方、脳の障害の起き方は
病気のタイプによって違う

周囲の人に負担をかけたり、
生活に支障のある行動が起きる

周辺症状・行動心理症状

多くの場合は理由や背景がある

BPSDが起きる理由と背景を推測しよう

1. 理由と背景

心身の理解…認知症の疾患やその他の疾患との関係を探る

2. 理由と背景

生活の理解…生活環境、人間関係、役割、楽しみを探る

3. 理由と背景

個別性の理解…性格や生活史、過去の仕事や役割を探る

4. 理由と背景

現状の理解…BPSDの起きている状況、時間、対応を探る

BPSDが起きる理由と背景を推測しよう

1. 心身の理解

①認知症の疾患や体調

認知症の疾患、合併症、血圧、服薬

②その人の状態

記憶、見当識、理解判断力、空間認知、失認、失行等

③不安や精神的な混乱

不安症状の内容、妄想、幻視、幻聴、食欲低下の有無

BPSDが起きる理由と背景を推測しよう

2. 生活の理解

①生活環境

住まい、居室、トイレ、段差、照明、キッチン

②家族や地域

家族関係、近隣住民との関係、介護サービス

③役割やできること、楽しみ

日常の役割、できること、好み、楽しみ、趣味

BPSDが起きる理由と背景を推測しよう

3. 個別性の理解

①生活史

生まれ育った環境、両親、兄弟

②過去の仕事や役割

仕事の内容、家庭内での役割、社会的な立場

③本人の暮らしへの意志や意向、考え

BPSDが起きる理由と背景を推測しよう

4. 現状の理解

①BPSDの起きている状況

時間、場所、具体的な内容

②本人の行動、言動

本人の発した言葉や声、仕草や行動、表情など

③対応や関わり

支援者の対応、関わり、コミュニケーション

BPSDが起きる理由と背景を整理するワークシート

1. 心身の理解

①認知症の疾患や体調（認知症の疾患、合併症、血圧、服薬）②その人の状態（記憶、見当識、理解判断力、空間認知、失認、失行等）③不安や精神的な混乱（不安症状の内容、妄想、幻視、幻聴、食欲低下の有無）

- ・ 箇条書きでわかってることを記載します
- ・ ポイントを絞って簡潔に記載します

2. 生活の理解

①生活環境（住まい、居室、トイレ、段差、照明、キッチン）②家族や地域（家族関係、近隣住民との関係、介護サービス）③役割やできること、楽しみ（日常の役割、できること、好み、楽しみ、趣味）

3. 個別性の理解

①生活史を把握する（生まれ育った環境、両親、兄弟）②過去の仕事を把握する（職業や業務の内容、役職、家庭内での立場と役割）③本人の暮らしへの意志や意向、考え

4. 現状の理解

①BPSDの起きている状況（時間、場所、具体的な内容）本人の行動言動②本人の発した言葉や声、仕草や行動、表情③支援者の対応、関わり、コミュニケーション

- ・ 本人の言動行動は翻訳せずに記入する
- ・ スタッフの関わりも実際の様子を書く

事例1 Fさん（アルツハイマー型認知症・中重度・82歳・杖歩行、男性）は、玄関のところで突然杖を振り上げ、「う、うっ」と言いながらA職員の足を叩いた。Fさんには失語があり、思うように言葉が出ない。他の疾患はない。これまで暴力的な態度や行動を見せたことがなかったが、他の職員も困惑して、同じ状況が続くようなら向精神薬の処方をお願いした方が良いのではという声も上がっている。

Fさんは東京都生まれ、戦後の物のない時代を苦労して育った。高校を出てからは鮮魚店で働く。長く鮮魚店を営んでいた。性格はどちらかと言えば内向的で穏やかだった。仕事一筋で生きてきた。テレビを見るくらいしかすることがない。

暴力のあった日は、施設の利用者が地域の展示会に絵画作品を出品したので、みなでそれを観に行ったのだった。暴力の直前には、A職員がFさんに付き添いながら、「Fさんも〇〇さんみたいに絵を描いてみたらどうですか」と半ば励ますつもりで話した。それにはFさんは何も答えなかった。

Fさんには内科的疾患はなく、便秘症でもない。服薬はドネペジル5mg。失語の他、失行も増え、わからないことが増えている。Fさんはなぜそんな行動に出たのか？

上の事例を
ワークシートに書きだして
情報を整理してみましよう

BPSDが起きる理由と背景を整理するワークシート

1. 心身の理解

①認知症の疾患や体調（認知症の疾患、合併症、血圧、服薬）②その人の状態（記憶、見当識、理解判断力、空間認知、失認、失行等）③不安や精神的な混乱（不安症状の内容、妄想、幻視、幻聴、食欲低下の有無）

- ・アルツハイマー型認知症・中重度・82歳・杖歩行、男性
- ・Fさんには失語があり、思うように言葉が出ない。
- ・他の疾患はない。

2. 生活の理解

①生活環境（住まい、居室、トイレ、段差、照明、キッチン）②家族や地域（家族関係、近隣住民との関係、介護サービス）③役割やできること、楽しみ（日常の役割、できること、好み、楽しみ、趣味）

- ・事例からは在宅とも施設在住とも受け取れる。
- ・テレビを見るくらいしかすることがない。
- ・「Fさんも〇〇さんみたいに絵を描いてみたらどうですか」と半ば励ますつもりで話した。

3. 個別性の理解

①生活史を把握する（生まれ育った環境、両親、兄弟）②過去の仕事や役割を把握する（職業や業務の内容、役職、家庭内での立場と役割）③本人の暮らしへの意志や意向、考え

- ・東京都生まれ、戦後の物のない時代を苦労して育った。高校を出てからは鮮魚店で働く。長く鮮魚店を営んでいた。
- ・性格はどちらかと言えば内向的で穏やかだった。仕事一筋で生きてきた
- ・Fさんはこれまで、暴力的な態度や行動を見せたことはなかった。

4. 現状の理解

①BPSDの起きている状況（時間、場所、具体的な内容）本人の行動言動②本人の発した言葉や声、仕草や行動、表情③支援者の対応、関わり、コミュニケーション

- ・突然杖を振り上げ、「う、うっ」と言いながらA職員の足を叩いた。
- ・Fさんには失語があり、思うように言葉が出ない。
- ・他の職員も困惑してしまい、同じ状況が続くようなら、向精神薬の処方をお願いした方が良いのではという声も。

本人の行動、言葉、意向、困
りごとを確認しましょう

本人の行動、言葉、意向、困
りごとから気づいたこと

本人の行動、言葉、意向、困りごとを確認しましょう

本人の行動、言葉、意向、困りごとから気づいたこと

BPSDが起きる理由と背景を推測してみましよう

BPSDを改善する対応策を3つ上げてみましよう

理由と背景のうち関係が深いと考えられること

BPSDを改善するためのチームとしての対応策

今後の勉強会の進め方

開催日 奇数月第3木曜日夜 会場大船周辺の会議室

第1回 総論…認知症の人のBPSDの理由と背景を学ぶ

第2回 アルツハイマー型認知症の特徴とBPSDの理由と背景を学ぶ

第3回 前頭側頭型認知症の特徴を知りBPSDの理由と背景を学ぶ

第4回 レビー小体型認知症の特徴を知りBPSDの理由と背景を学ぶ

第5回 若年性認知症の特徴を知りBPSDの理由と背景を学ぶ

第6回. 認知症のBPSD改善のポイントを多職種で共有しよう



認知症の人の生活上の “困りごと”を解決する 90のヒントを提案する本

中央法規出版 220P

1980円(税込)

購入は書店、アマゾンで！



稲田秀樹 著

(株)さくらコミュニティーケアサービス代表取締役

(一社) かまくら認知症ネットワーク代表理事

(一社) 神奈川オレンジネットワーク代表理事